Data
Message
Standards

PPIHグループ 流通BMS『DMS』

流通BMS切替テストのご案内
（流通BMSプラン）

流通BMSプラン

Ver.3.00

REALIT
株式会社リアリット

Copyright (c) 2021 REALIT Co.,Ltd. All rights reserved.

confidential

【変更履歴】

変更番号	バージョン 変更日	変更内容
1	Ver.1.0 2016/3/14	新規作成
2	Ver.2.00 2021/3/31	お問い合わせ窓口・社名の変更 並行テスト項目を削除 表紙・変更履歴のレイアウト変更
3	Ver.3.00 2025/7/1	納品テスト内容より、納品明細書テストを削除

目次

ページ

1．流通BMSで導入される企業様

１．１．切替までの流れ ・・・ 4

１．２．データ運用スケジュールについて ・・・ 5

１．３．疎通テストの流れ ・・・ 6

１．４．納品テストの流れ ・・・ 7

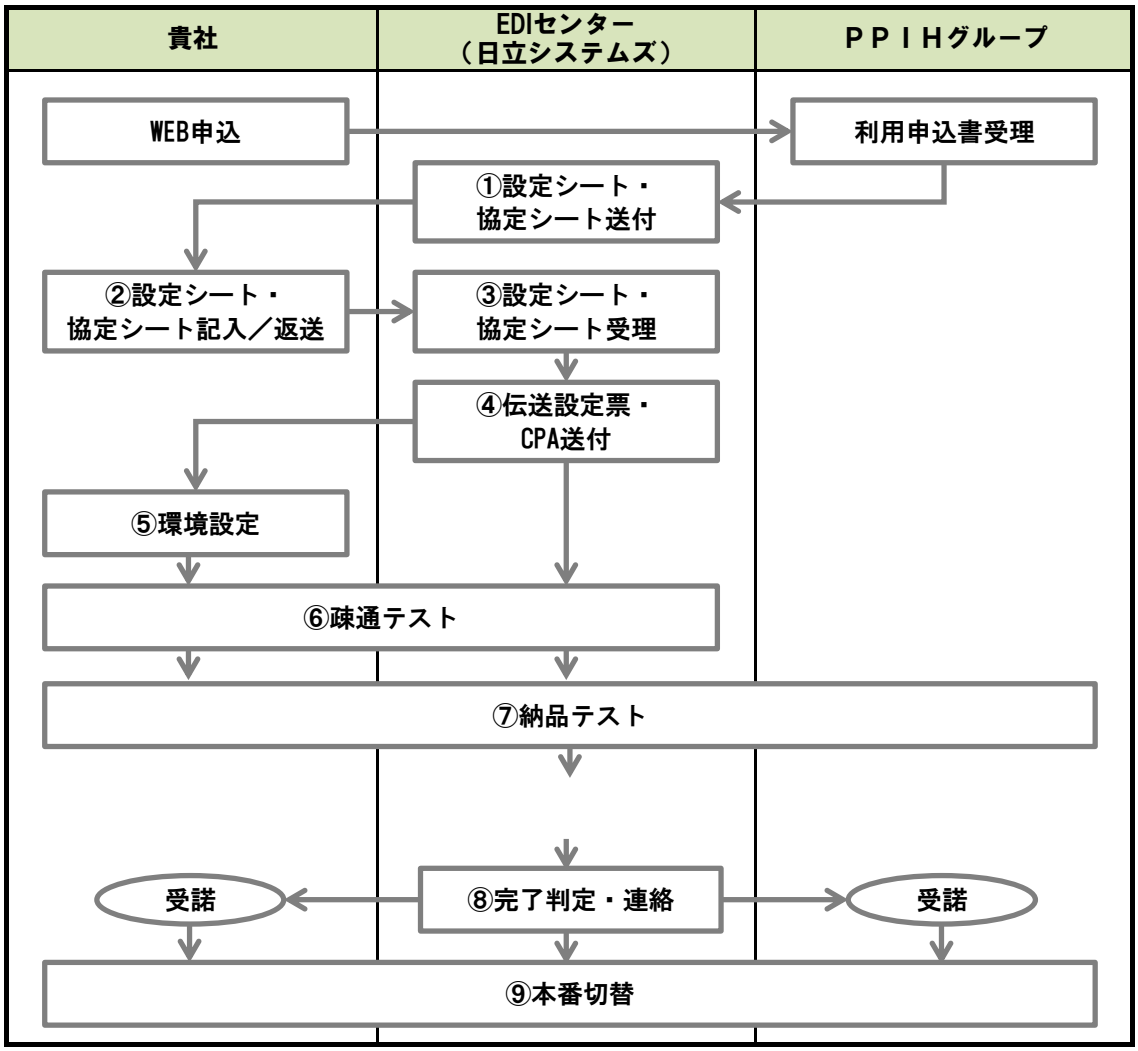
１．５．テスト完了判定 ・・・ 11

１．６．本番切替 ・・・ 12

【付録①】テストデータ作成方法について ・・・ 13

１．流通BMSプランで導入される企業様

１．１．切替までの流れ



①設定シート・協定シート送付　：EDIセンターより設定シートと協定シートをメールでお送りいたします。

②設定シート・協定シート記入／返送　：設定シートと協定シートに必要情報をご記入いただき、EDIセンターへメールで返送いただきます。

③設定シート・協定シート受理　：ご記入いただきました内容で貴社の登録を行います。ご記入不備があった場合はメールでお知らせいたしますので訂正のうえ、再度お送りください。

④伝送設定票・CPA送付　：テスト開始1週間前までに伝送設定票をテスト実施要領と合わせてお送りします。（ebXML通信プロトコルを希望の場合はCPA同封）疎通テスト実施日も合わせてご連絡いたします。

⑤環境設定　：貴社システム側のご準備をお願いします。

⑥疎通テスト　：システムの接続テストを実施いたします。

⑦納品テスト　：主に出荷データの整合性のテストを実施いたします。

⑧完了判定・連絡　：EDIセンターよりテスト結果及び本番切替日をご連絡いたします。

⑨本番切替　：本番切替を行います。

１．流通BMSプランで導入される企業様
１．２．データ運用スケジュールについて

データの運用スケジュールに変更はございません。
今まで通りとなりますが、ebXMLをご利用いただくお取引先様に関しましては、
データが発生したタイミングでEDIセンターから送信されます。
現行システムより発生時間が多少前後する可能性がございますので、
あらかじめご了承ください。

１．流通BMSプランで導入される企業様
１．３．疎通テストの流れ

（１）ebXMLプロトコルをご利用のパートナー様

以下の内容でテストデータの送受信をお願いいたします。

①発注データ、受領データ、受領訂正データ、支払データ
・テスト区分IDが設定されたダミーデータを弊社から送信いたします。
・データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
※ダミーデータのため、データ内容のご確認は不要です。

②出荷データ
・テスト区分IDが設定されたダミーデータを弊社へ送信してください。
・データの送信処理が正常に行えることをご確認ください。
・データ送信の完了を日立システムズ流通BMS切替担当へメールでご連絡ください。

（２）JXプロトコルをご利用のパートナー様

以下の内容でテストデータの送受信をお願いいたします。

①発注データ、受領データ、受領訂正データ、支払データ
・テスト区分IDが設定されたダミーデータを弊社でセットします。
・貴社より、データの受信を実施ください。
・データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
※ダミーデータのため、データ内容のご確認は不要です。

②出荷データ
・テスト区分IDが設定されたダミーデータを弊社へ送信してください。
・データの送信処理が正常に行えることをご確認ください。
・データ送信の完了を日立システムズ流通BMS切替担当へメールでご連絡ください。

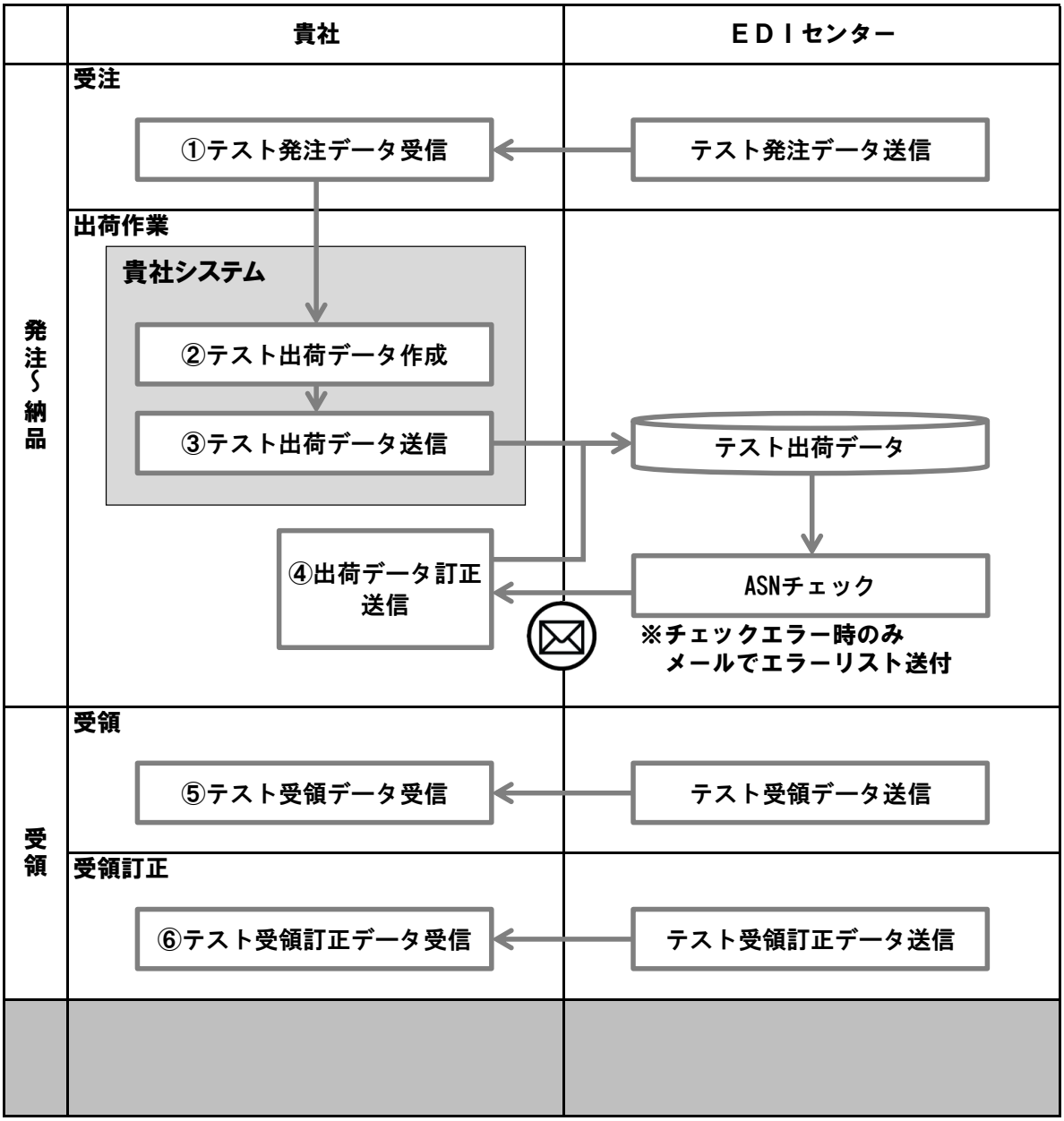
※テスト区分IDの設定方法につきましては、【付録①：テスト区分IDについて】を参照ください。

※テスト期間中は、本番データは現行システムでお渡しします。
そちらを利用し従来通り納品処理を行ってください。
新システムでの本番は日立システムズより案内した本番開始日からになります。
お間違えの無いよう、十分ご理解のうえ、テストへのご協力をお願いいたします。

１．流通BMSプランで導入される企業様
１．４．納品テストの流れ

（１）ebXMLプロトコルをご利用のパートナー様

テスト期間中は、本番データは現行システムでお渡しします。
そちらを利用し従来通り納品処理を行ってください。
新システムでの本番は日立システムズより案内した本番開始日からになります。お間違えの無いよう、十分ご理解のうえ、テストへのご協力をお願いいたします。



１．流通BMSプランで導入される企業様
１．４．納品テストの流れ

①テスト発注データ受信
- テスト区分IDが設定された発注データを弊社から送信いたします。
- データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 本番同等のデータのため、データ内容のご確認をお願いいたします。
  マッピングシート：発注（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

②テスト出荷データ作成
- ①で受信した発注データを元に、シナリオに沿った出荷データを作成ください。
  本番同等の環境にて、データを作成ください。
  マッピングシート：出荷（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

③テスト出荷データ送信／④出荷データ訂正送信
- データの送信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 出荷データ送信後、EDIセンターでデータの整合性チェック（ASNチェック）が
  かかり、チェックエラーの場合はエラーメールが返されます。
  エラー内容をご確認のうえ、データを訂正して再送をお願いいたします。
  ※本データは計上されません。
  ※ASNチェックエラーメールの送信先はWeb画面から登録できます。
  設定されていないと、エラーメールが届きませんので、必ず設定をお願いいたします。

⑤テスト受領データ受信
- テスト区分IDが設定された受領データを弊社から送信いたします。
  ※③④の出荷データとは関係の無い内容になります。
- データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 本番同等のデータのため、データ内容のご確認をお願いいたします。
  マッピングシート：受領（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

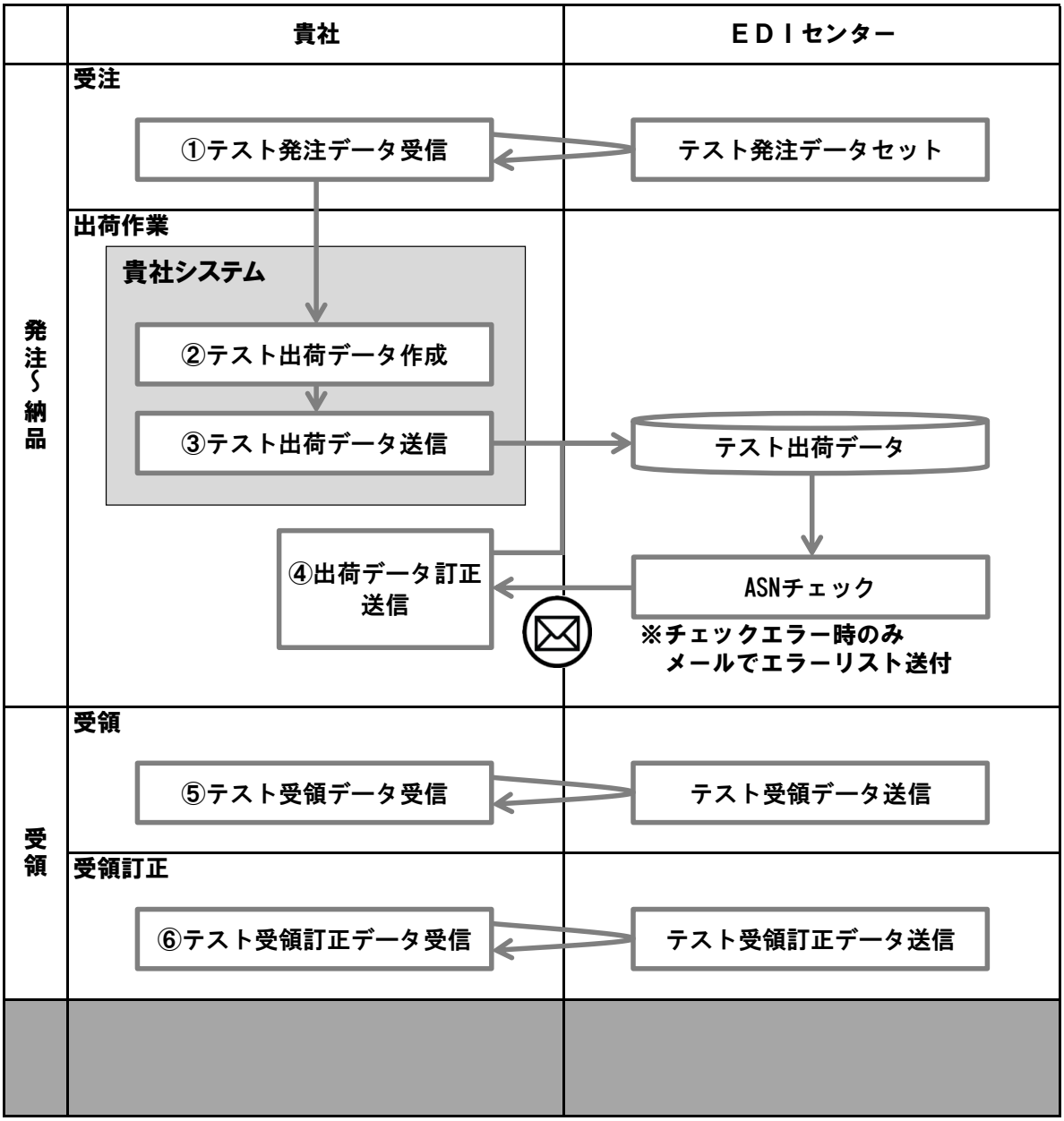
⑥テスト受領訂正データ受信
- テスト区分IDが設定された受領データを弊社から送信いたします。
  ※⑤の受領に対し、一部伝票に訂正が入ったデータになります。
- データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 本番同等のデータのため、データ内容のご確認をお願いいたします。
  マッピングシート：受領訂正（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

※①～⑥が完了しましたら、日立システムズ 流通BMS切替担当までメールで完了の旨をご連絡ください。
Mail：donq-bms@ml.hitachi-systems.com

１．流通BMSプランで導入される企業様
１．４．納品テストの流れ

（２）JXプロトコルをご利用のパートナー様

テスト期間中は、本番データは現行システムでお渡しします。
そちらを利用し従来通り納品処理を行ってください。
新システムでの本番は日立システムズより案内した本番開始日からになります。お間違えの無いよう、十分ご理解のうえ、テストへのご協力をお願いいたします。



１．流通BMSプランで導入される企業様
１．４．納品テストの流れ

①テスト発注データ受信
- テスト区分IDが設定された発注データを弊社からセットいたします。
- データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 本番同等のデータのため、データ内容のご確認をお願いいたします。
  マッピングシート：発注（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

②テスト出荷データ作成
- ①で受信した発注データを元に、シナリオに沿った出荷データを作成ください。
  本番同等の環境にて、データを作成ください。
  マッピングシート：出荷（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

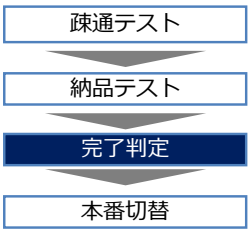
③テスト出荷データ送信／④出荷データ訂正送信
- データの送信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 出荷データ送信後、EDIセンターでデータの整合性チェック（ASNチェック）が
  かかり、チェックエラーの場合はエラーメールが返されます。
  エラー内容をご確認のうえ、データを訂正して再送をお願いいたします。
  ※本データは計上されません。
  ※ASNチェックエラーメールの送信先はWEB画面から登録できます。
  設定されていないと、エラーメールが届きませんので、必ず設定をお願いいたします。

⑤テスト受領データ受信
- テスト区分IDが設定された受領データを弊社からセットいたします。
  ※③④の出荷データとは関係の無い内容になります。
- データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 本番同等のデータのため、データ内容のご確認をお願いいたします。
  マッピングシート：受領（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

⑥テスト受領訂正データ受信
- テスト区分IDが設定された受領データを弊社からセットいたします。
  ※⑤の受領に対し、一部伝票に訂正が入ったデータになります。
- データの受信処理が正常に行えることをご確認ください。
- 本番同等のデータのため、データ内容のご確認をお願いいたします。
  マッピングシート：受領訂正（BMSﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）参照

※①～⑥が完了しましたら、日立システムズ 流通BMS切替担当までメールで完了の旨をご連絡ください。
Mail：donq-bms@ml.hitachi-systems.com

１．流通BMSプランで導入される企業様
１．５．テスト完了判定



（１）ebXMLプロトコルをご利用のパートナー様

①疎通テスト

- XMLデータの送受信が正常に完了していること。

②納品テスト

- シナリオ通りの出荷データが送信されていること。

（２）JXプロトコルをご利用のパートナー様

①疎通テスト

- XMLデータの送受信が正常に完了していること。

②納品テスト

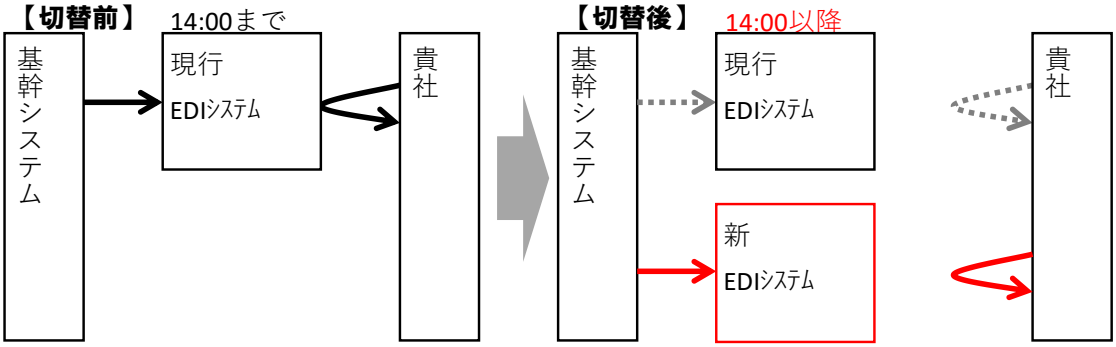
- シナリオ通りの出荷データが送信されていること。

１．流通BMSプランで導入される企業様
１．６．本番切替

（１）発注、出荷、受領、受領訂正データの切替

発注データ発生日（＝データ送信日）を起点とし、
14:00以降発生するデータから本番切替となります。

①本番切替時点までの作業
現行システムで発生しているデータ全て受信をお願いいたします。
本番切替以降は、現行システム側のデータは無効です。
万が一データが発生している場合は、至急ご連絡をお願いいたします。
本番切替時点から、新システム側（流通BMS）のデータが本番となりますので
お間違えの無いようお願いいたします。



※切替に関し、不明点等ある場合は、必ず日立システムズ　流通BMS切替担当に
ご連絡いただけますようお願いいたします。
ご連絡をいただけておらず、本番切替がうまくいかない場合に関しましては、
対応が遅くなってしまう場合がございます。
スムーズな本番切替が行えますよう、ご協力をお願いいたします。

（２）支払データの切替

現在EDIご利用の方は、発注データ本番切替の翌月分のデータから新システム(BMS)で配信します。
新規導入(EDI未利用)の方は、切替日から支払データの受信が可能です。
（※毎月月初に配信となりますので、配信日より後に本番切替した場合は翌月からの配信となります）

①本番切替時点までの作業（現在EDIご利用の方対象）
現行システムで発生しているデータ全て受信をお願いいたします。

納品日 ＼ システム	切替月	
	～前月末日	当月分
現行	受信	-
ＢＭＳ	-	受信

②本番切替イメージ

例）【現在EDIご利用の方】発注が3/2本番切替日の場合
①2/1～2/28までの支払は3/10頃に**現行システム**で受信。
②3/1～3/31までの支払は4/10頃に**新システム**で受信。

例）【新規導入(EDI未利用)の場合】発注が3/2本番切替日の場合
①2/1～2/28までの支払は3/10頃に**新システム**で受信。
②3/1～3/31までの支払は4/10頃に**新システム**で受信。

付録①：テスト区分IDについて

テストデータ作成方法について

SBDHレコード項目のうち「テスト区分ID」の設定方法について記載しております。
テストデータの作成についてご協力をお願いいたします。

【EDIセンター→貴社向けデータ】
疎通テスト中はテスト区分IDを以下のとおり設定いたします。
本番切替後はテスト区分IDは設定いたしません。
<<イメージ>>
例）ｽﾃｰｼｮﾝｺｰﾄﾞ：00099900の場合

NO	項目名		項目設定値	
			疎通テスト	本番切替後
SBDH				
1	送信者ID		4573440480009	4573440480009
2	送信者ID発行元		GLN	GLN
3	受信者ID		00099900	00099900
4	受信者ID発行元		CODE	CODE
5	バージョン		1P	1P
6	インスタンスID		20160331121300	20160331121300
7	メッセージ種		Order	Order
8	作成日時		2016-03-31T12:13:00	2016-03-31T12:13:00
9	テスト区分ID	sh:Type	Communication	
		sh:InstanceIDentifier	Test	
		sh:IDentifier	1	
～	～中略～			

※メッセージ種：発注（Order）、受領（Receiving Notification）、
受領訂正（Corrected Receiving Notification）、支払（Payment）

【貴社→EDIセンター向けデータ】
疎通テスト中はテスト区分IDを以下のとおり設定をお願いいたします。
本番切替後はテスト区分IDは設定せず送信をお願いいたします。
<<イメージ>>
例）ｽﾃｰｼｮﾝｺｰﾄﾞ：00099900の場合

NO	項目名		項目設定値	
			疎通テスト	本番切替後
SBDH				
1	送信者ID		00099900	00099900
2	送信者ID発行元		CODE	CODE
3	受信者ID		4573440480009	4573440480009
4	受信者ID発行元		GLN	GLN
5	バージョン		1P	1P
6	インスタンスID		20160331121300	20160331121300
7	メッセージ種		Shipment Notification	Shipment Notification
8	作成日時		2016-03-31T12:13:00	2016-03-31T12:13:00
9	テスト区分ID	sh:Type	Communication	
		sh:InstanceIDentifier	Test	
		sh:IDentifier	1	
～	～中略～			

※メッセージ種：出荷伝票（Shipment Notification）

お問い合わせ先

株式会社リアリット

◆ TEL ：03-6808-0108
（受付：平日10：00～18：00）

◆メールアドレス ：dms@realit.co.jp